



A 試合会場レポート

試合番号 612

開催日 2015/12/26

平成27年度皇后杯ファイナルラウンド

会場: 大田区総合体育館

観客数: 2,200 開始時間: 13:05 終了時間: 14:22 試合時間: 01:17 主審: 澤 達大 副審: 渡部 菜保子

東レアローズ



監督: 福田 康弘
コーチ: 越谷 章

通算: - 勝 - 敗
ポイント:

0	15	第1セット 【 00:23 】	25	3
	18	第2セット 【 00:25 】	25	
	19	第3セット 【 00:23 】	25	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

久光製薬スプリングス



監督: 中田 久美
コーチ: 加藤 陽一

通算: - 勝 - 敗
ポイント:

【】内はセット時間
()内は交代選手

<監督コメント>

相手のレフト攻撃に序盤から対応できずに、相手に主導権を与えてしまった。ディフェンスについても、ブロックとディフェンスの関係が崩され機能しなかったことが、大きな敗因である。また、チーム・個人としての対応力をレベルアップ出来るように修正していきたいと思う。

今大会これまでご声援いただきありがとうございました。今年最後の試合をこのような形で終え申し訳ございません。来年Vリーグ再開時にはこれまで変わらぬご声援よろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

<監督コメント>

本日も会場を埋め尽くすたくさんのご声援まことにありがとうございました。

試合の方は序盤から強いサーブで相手へのプレッシャーをかける事ができた。また攻撃力のある東レに対してブロックとレシーブで粘り、自分達のリズムを作ることに成功した。3セット目は一進一退の攻防が続いたが、長岡、石井を中心に大事な1点を確実にとって最後まで勢いを保てたことが勝利に繋がった。

2015年も残すところあと1戦となったが、もう一度チーム一丸となり最後まで自分達のバレーを展開していきたい。

明日も変わらぬご声援のほどよろしくお願いいたします。

15	伊藤	迫田	第1セット	新鍋	古藤	25
	()	()		()	(野本)	
	田代	高田		岩坂	水田	
	峯村	白井		()	(石橋)	
	木村(沙)	大野		長岡	石井	
	()	(杉原)		()	()	
リベロ: 木村(美)		リベロ: 戸江				
18	野村	迫田	第2セット	新鍋	古藤	25
	()	()		(野本)	(ポカン)	
	田代	高田		岩坂	水田	
	峯村	白井		()	()	
	木村(沙)	大野		長岡	石井	
	()	()		(栄)	()	
リベロ: 木村(美)		リベロ: 戸江				
19	野村	迫田	第3セット	新鍋	古藤	25
	(伊藤)	()		()	()	
	田代	高田		岩坂	水田	
	()	()		()	()	
	木村(沙)	大野		長岡	石井	
	()	()		()	()	
リベロ: 木村(美)		リベロ: 戸江				
	()	()	第4セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ:		リベロ:				
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ:		リベロ:				

<要約レポート>

皇后杯4連覇のかかる久光製薬スプリングスと、それを阻みたい東レアローズの対戦。

第1セット、久光製薬は長岡のサーブと、水田を中心にブロックが機能し、攻撃につながりリードする。その後も長いラリーを戸江が拾い、長岡、石井が決めて10点差をつけてセットを摂取する。

第2セット、東レは迫田、高田が攻撃の軸となり攻めるが、久光製薬は岩坂のサーブなどでリードする。負けじと東レが木村(沙)のスパイクなどで詰め寄る。しかし、久光製薬は岩坂、石井の連続ブロックで引き離す。その後も岩坂のサービスエース、水田のブロックポイントなどで3選手を入れ替えても安定した力を発揮した久光製薬がセットを連取する。

第3セット、後のない東レは、木村(美)、高田のレシーブが安定し、速攻などの攻撃が決まりだす。中盤に迫田のサーブから木村(沙)のブロック、スパイクが決定し、この試合初めて東レがリードする。しかし、久光製薬は古藤のサーブから、岩坂のブロックで逆転すると新鍋のサービスエースやスパイクレシーブを得点につなげ、7連続得点をあげ勝利し4連覇に王手をかけた。

作成者: 高澤 佳江

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します